

短歌

小宮山 久子 選

入選 毎日を天気予報に笑顔見す女性アナウンサー私は大好き  
左手にページ僅かと感じつつ終わらないでと祈りつつ読む  
未だ明けぬ冷たき空気引き裂きて新聞配るバイクの音す

小林 国男  
金井 美穂  
松橋千枝子

佳作

心ざわぐ情報多き新聞をパタリと閉ぢて深呼吸すべし  
早々に用件すませ辞す我に手渡す花は君の香りす  
立ち枯れし菊を抱き寄せ刈りれば香りほのかに新芽萌えをり  
コスモスが一番好きと言ひし姉眠る如くに旅立ち行けり

羽生田めぐ美  
小林 隆夫  
伊藤三千代  
堀内 令子

〈選者評・一首目〉 テレビの気象予報士に人気があるのは、晴でも雨でも明るい笑顔で語りかけてくれるからでしょう。作品には実に素直にそんな思いが詠まれています。

俳句

島田 洋子 選

入選 柿の葉をどっさり落とし今朝の霜  
秋寒やテレビに返す独り言  
慎ましく生くる幸せ根深汁

甲田 隆登  
倉沢えり子  
小宮山哲夫

佳作

大地より生まるる大根引きにけり  
客送りやれ火を入れん煮大根  
ビル風に翻弄される落葉かな  
新涼や試歩を伸ばして四千歩  
古九谷の色絵のやうや秋の山  
冬ぬくし童話ひも解く老講師  
クリスマス赤いポストに髭付けて

小林 宣子  
友野 敦子  
松沢 昭一  
柳沢 幸子  
君山 洋子  
若林みゑ子  
杵掛 俊子

〈選者評・一首目〉 柿の紅葉はアート作品のようです。その葉がどっさり散ったという表現で、葉の重量感と霜の強さが伝わります。朝日に霜が輝きます。

〈選者吟〉 遠いほど瞬く夜景霜の声

川柳

齊藤 俊酔 選

入選 デザートの様に食後に飲む菓  
億劫を宥めて気合割烹着  
鬱の字を書くに苦勞し鬱気分

清水 幸子  
尾見 志子  
竹内 栄

佳作

心地いい昼寝は老いの栄養素  
意気込んだ眼鏡曇らす鍋の湯気  
縄のれんぐれば皆が平社員  
過疎の村荒地地を守る山羊部隊  
儲け話只で教える電話あり  
マスク取り挨拶したい人に逢う  
知らぬ振りしてやり過ごす嫌な事

丸山 卓雄  
滝沢 彰男  
竹内 啓子  
宮澤 令行  
北澤 幸人  
横山 允彦  
高野 賢一

〈選者評・一首目〉 食後に菓を飲む人は、大勢いると思います。数多く飲む人、又少量の人。そんな状況を「デザート」の様に飲む」とユーモラスに表現され、つい笑いが出ました。

〈選者吟〉 スーパーで手ぐすね引いて待つ値引き

# みんなで高める地域防災力・守る命

## ～あらゆる災害から最悪の事態を避けられる上田市を目指して～

多発する大災害を教訓に、大規模自然災害に備えるため、住民・自治会、民間事業者、行政がそれぞれの立場で行うことをまとめた上田市国土強靱化地域計画を令和3年12月に策定しました。皆様には、特に住民・自治会の備えをご覧いただき、いざという時に、命を守り被害を最小限に食い止める行動の準備をお願いします。



ホームページ

☎ 71・6358 土木課

### 住民・自治会の備え

できているものにチェックし、チェックを増やしていきましょう！

- 自宅の強度を診断  家具の固定
- 地区の危険を知り、避難に備える(地区防災マップ)
- 防災訓練や出前講座に参加
- 防火・救急講習へ参加  自主防災組織への参画
- 災害ハザードマップの確認
- 災害情報の取り方を知る  非常持ち出し袋の準備
- 水や燃料の備蓄  ボランティア活動への理解
- 助け合い避難(住民支え合いマップ)
- 危険箇所には近づかない

### みんなで協力する備え

- 消防団への応援
- 森林、里山の公益的機能の確保
- 川への流出量を減らす(流域治水)

### 民間事業者の備え

- 地震や洪水に耐えうる公共交通施設の整備
- 交通事業者の危険回避、影響を減らす対策
- 情報通信事業者の停電対策、通信網の強化
- 臨時放送やきめ細かい災害情報の提供
- ライフライン(電気、ガス、水道)の停電対策、耐震化、臨時供給の準備
- 医師、看護師の確保 など

### 行政の備え

- 古くなった公共建物、橋の耐震化
- 河川、水路の整備や流木・土砂災害対策の推進
- 幹線道路の整備や無電柱化
- 避難者支援物資の備蓄、マンホールトイレの設置
- ボランティアの受け入れ体制強化
- 消防、警察機能の強化・資機材の充実
- 雨量や洪水、避難情報をリアルに提供 など

## 「太陽と大地の聖地」上田市日本遺産だより



### 上田市日本遺産構成文化財紹介 vol.8

## 鞍が淵と蛇骨石



独鈷山から落下した2つの大岩が折り重なって鞍のように見えることから「鞍が淵」と呼ばれる場所があります。岩の間を流れる産川が造るこの淵には、松谷みよ子作『龍の子太郎』のモデルとなった民話が伝えられています。

昔、鞍が淵で大蛇が人間の子を産み、三日三晩苦しんで大雨を降させた末に死んでしまいます。産まれた子は流されて小泉村で拾われ「小泉小太郎」と名付けられました。鞍が淵周辺で見られる灰沸石は色や形がへびの骨に似ていることから蛇骨石と呼ばれ、死んだ大蛇の骨が散らばったものであると伝えられています。



鞍が淵 小太郎伝説 蛇骨石

■文化財所在地 前山

#### ●関連事項

上田市の日本遺産認定ストーリーについて、内容や魅力を知ることができる絵本「おひさまはみている」とかるたを制作しました。市内図書館、公民館、小中学校・保育園などへ配布しましたので、ご覧ください。

☎ 75・2005 上田市日本遺産推進協議会事務局(交流文化スポーツ課内)